

獣医師職の業務内容

1. 島根県の獣医師（農林水産部）の現状

【県の取組】

「安全な畜産物（乳、肉、卵）の生産は健康な家畜から！」

この理念のもと、家畜の伝染病予防を柱とした家畜衛生対策、家畜疾病の予防や治療に必要な獣医療体制の整備、家畜飼料や動物用医薬品の安全性確保などの業務を行うことで、畜産物の安全を確保しています。また、畜産経営をサポートする巡回指導や県版GAP認証制度を推進することで、広く畜産の振興に貢献しています。

- ・ 鳥インフルエンザや豚熱、口蹄疫など家畜伝染病の発生の防止
- ・ 家畜伝染病が発生した際の危機管理体制の整備
- ・ 家畜疾病の原因を究明するための各種検査（病性鑑定）の実施
- ・ 飼料の安全性や動物用医薬品の適正使用の監視
- ・ 和牛の繁殖指導や乳牛の乳質改善指導、GAP（生産工程管理）やアニマルウェルフェア、SDGsの推進

【特長】

- ・ 県内4カ所の家畜保健衛生所は、畜産経営や農業共済組合の獣医師等と日頃から交流を密にし、他県と比べても高い信頼関係を構築しています。
- ・ このため家畜伝染病発生時には、生産者から家畜保健衛生所へ早期に通報があり、防疫措置を適切に講じることができています。
- ・ 家畜病性鑑定室では、先端技術を活用した疾病診断を行うとともに、獣医系大学や企業と家畜衛生分野の共同研究を行い、全国トップレベルの技術を有しています。
- ・ 獣医系大学の学外実習やインターンシップを積極的に引き受け、獣医師の育成に貢献しています。
- ・ 就職してからは、論文ドクターの取得を応援したり、健康福祉部や家畜診療所との人事交流を推進したりすることで、個人のキャリアアップを図る環境を整えています。

【課題】

- ・ 一緒に働く獣医師が不足しています。

※ 県内の家畜診療所や大型農場、酪農学園大学、麻布大学、岡山理科大学と連携協定を締結し、獣医師確保対策を展開しています。

2. 業務内容

【行政（本庁勤務等）】

様々な機関と連携して畜産生産現場を支援する

家畜伝染病の発生予防、動物用医薬品や獣医療に関する業務について、家畜保健衛生所や家畜病性鑑定室と連携するとともに、畜産分野の他機関との調整業務を行っています。

現在どんな仕事を担当していますか？

県内の家畜伝染病の発生予防のため、家畜保健衛生所や家畜病性鑑定室との情報共有を行うとともに、業務調整や予算管理を行っています。

島根県職員として働く魅力は？

様々な職域を経験できることが最大の魅力だと感じます。現在採用8年目ですが、家畜保健衛生所、畜産技術センター（研究）、県庁（行政）と、3つの異なる分野を経験しました。それぞれ仕事の内容は異なりますが、他の分野に通じる部分もあり、各所で得た経験や人脈を活かして仕事を工夫できることにやりがいを感じています。

ある1日のスケジュール

- 7:00 ● 起床
- 8:10 ● 通勤（自転車）
- 8:20 ● 登庁
- 8:30 ● 始業、メール確認
- 9:00 ● 資料作成
- 11:30 ● 会議準備
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 県内家畜衛生関係担当者会議
- 17:30 ● 退庁
- 17:40 ● 帰宅



資料作成の様子

【研究職】

安心・安全な畜産物の生産に貢献

鳥インフルエンザや口蹄疫、豚熱などの家畜伝染病の予防とまん延防止に努め、安全・安心な畜産物の生産を支えています。

現在どんな仕事を担当していますか？

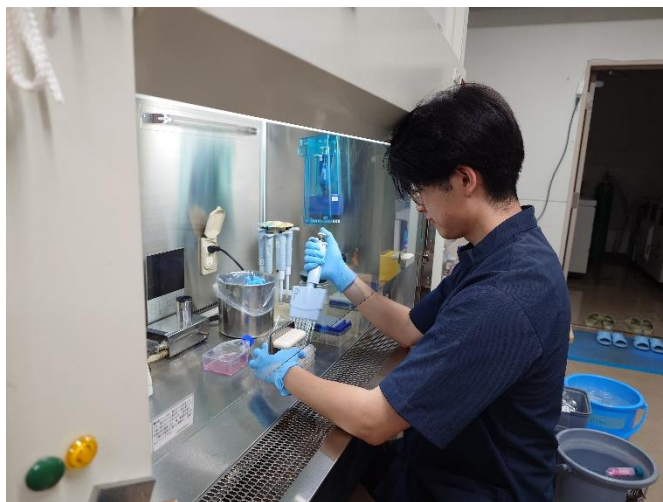
牛、豚、鶏など県内すべての産業動物に関するウイルス検査と研究を担当しています。

島根県職員として働く魅力は？

県全域の家畜伝染病予防とまん延防止に関わることができることや、病性鑑定や研究などにより、知識の深掘りと自己研鑽ができるところが面白いと思います。県全域の畜産農家に関わることは、公務員獣医師でしかできないことです。他ではできない、広い視野での仕事にやりがいを感じます。

ある1日のスケジュール

- 6:30 ● 起床
- 8:00 ● 通勤
- 8:20 ● 登庁
- 8:30 ● 始業、メール確認
- 9:00 ● ウイルス培養検査
- 10:30 ● 遺伝子検査
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 抗体検査
- 16:30 ● 事務作業
- 17:15 ● 退庁
- 17:45 ● 帰宅



ウイルス培養検査の様子

【家畜保健衛生所】

家畜衛生で島根県の畜産業を支える

鳥インフルエンザや豚熱、口蹄疫などの家畜伝染病の予防とまん延防止に努め、安全・安心な畜産物の生産を支えています。

現在どんな仕事を担当していますか？

主に家畜伝染病の発生やまん延を防ぐ業務を担当しています。普段は畜産農家を巡回し、伝染病の感染状況の検査や飼養管理状況に問題がないか確認を行っています。また、原因がわからずに家畜が死亡した場合や伝染病が疑われる場合には、原因を突き止めるため病理解剖を含めた詳細な検査を行い、再発やまん延防止に役立てる業務をしています。

このほか、安全な農林水産物の生産、販路拡大や農場の経営改善に活用できる島根県版GAP認証制度「美味しまね認証」の推進指導や、子牛生産のための繁殖巡回なども実施しています。

島根県職員として働く魅力は？

業務を通じて県民の暮らしに広く貢献できる点は、公務員の一番の魅力だと思います。近所のスーパーで管内農家の牛乳、肉、卵が毎日きれいに陳列されている様子を見ると、大きなやりがいを感じます。島根県全体の穏やかな雰囲気も魅力です。日々の現場業務の中で、のどかな田園風景に囲まれながら農家の皆さんと親しく会話ができることは、長く働くうえで大切な要素だと感じています。

ある1日のスケジュール

- 6:00 ● 起床
- 8:00 ● 通勤
- 8:20 ● 登庁
- 8:30 ● 始業、メール確認、検査準備
- 10:00 ● 農家巡回
牛の健康確認検査用の血液採材
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 採材した血液の処理・検査
- 16:00 ● 検査結果の共有
翌日の業務準備
- 17:15 ● 退庁
- 17:45 ● 帰宅



牛の健康確認検査用の血液採材の様子

3. 職員構成

出身大学及び学部

- ・ 鳥取大学 農学部 共同獣医学科
- ・ 麻布大学 獣医学部 獣医学科
- ・ 宮崎大学 農学部 獣医学科
- ・ 北里大学 獣医畜産学部 獣医学科
- ・ 山口大学 共同獣医学部 など

年齢構成及び男女比

